

## 一般財源の昨年度比較と「メリハリ」予算の実態

### 財

源には、一般財源と特定財源との2つの財源があります。特定財源というのは、特定の事業に対する国や県からの補助金等のことです。一般財源というのは、いわば三浦市自身の意思で使い方を決めることのできる財源のことです。したがって、三浦市の平成16年度当初予算を、どのような考え方に基づいて編成したかということを知っていただくためには、**一般財源についての説明**をするのが適切だということになります。

### 平

成16年度当初予算の一般財源総額は108億4千4百万円です。昨年度(平成15年度)は121億8千200万円でしたから、実額で13億3千8百万円、率にして**11.0%減った**ということになります。13億3千8百万円を三浦市の人口(平成16年4月1日現在 50,578人)で割ると、2万6千円ですから、かなり大きな額です。また、11.0%という大幅な減少率は過去4半世紀に例がありません。昭和50年度以降に前年比で一般財源がマイナスとなった年度は6回ありますが、**2年連続でのマイナスは今回が初めて**です。



### 一

般財源の総額には、公債費(借入金の返済に充てる費用)や職員等の人件費、災害など不測の事態に備えた予備費など、市民サービスのために直接使うことが予定されている事業費ではない金額も含まれています。そこで、これらの金額を差し引いて、「直接、市民サービスのために使うことが予定されている事業費」を計算すると、平成16年度は53億3千7百万円となります。平成15年度では63億6千3百万円ですから、実額で10億2千6百万円、率にして**16.1%減った**ということになります。なお、平成16年度は53億3千7百万円を全部で622件の事業に使う予定です。

### 6

22件のうち、一般財源を充てた金額が平成15年度と同額もしくはそれ以上になった事業は件数にして2割強に相当する141件です。この141件で一般財源総額の37%(19億5千1百万円)を占めています。つまり、**全体の2割強の事業に一般財源の4割近くを割り当てるとする優先順位の付け方をした**ということです。



### ま

た、これら141件の事業に相当する平成15年度当初の一般財源の割り当て額は14億9千6百万円ですから、平成16年度は約3割増えています。つまり、**全体がマイナス16.1%の一般財源総額となるなかにも、これら優先順位が高い141件の事業には前年比で約3割増となる一般財源の割り当てをした**ということです。これらのことは、このたびの予算編成を金額の面のみでみれば、「メリ(減り)」と「ハリ(張り)」のきいた予算編成となっていることを示していると言えるでしょう。

次号では、「メリ(減り)」と「ハリ(張り)」の内容を紹介してまいります。